

資料 1

1 資金収支決算の状況

(1) 収入の主な概要

収入面では、地域連携の強化などにより新入院患者を確保するとともに、病棟、診療科間の調整を行うなど効率的な病床運用に努めました。

また、手術件数の増加、平均在院日数の短縮による診療単価の向上により、医業収益は前年度と比較して16億円上回る712.2億円（前年度比2.3%増）となりました。

(2) 支出の主な概要

支出面では、費用抑制の取組を行いましたが、高額な治療薬の使用増に伴う材料費の増や、成人病センター移転に伴う経費の増により、医業費用は前年度と比較して15.4億円増加し、744.2億円（前年度比2.1%増）となりました。

(3) 資金収支差

大阪国際がんセンターを建設するため約300億円を投資したことや、運営費負担金が縮減される一方で、医業費用の増を上回る医業収益の増を確保したこと等により、平成28年度の資金収支差は、前年度と比較して0.7億円増加し4.2億円の黒字となりました。

【資金収支】

（単位：億円）

区 分	H28 決算	H27 決算	増 減
収入	1119.4	862.5	256.9
営業収益	774.0	780.0	▲6.0
うち医業収益	712.2	696.3	16.0
うち運営費負担金※	59.5	81.2	▲21.7
営業外収益	7.3	7.5	▲0.2
資本収入	338.1	74.6	263.5
支出	1115.1	859.0	265.1
営業費用	753.2	737.0	16.3
うち医業費用	744.2	728.8	15.4
うち給与費	363.0	374.2	▲11.2
うち材料費	231.0	213.3	17.7
うち経費	144.2	135.5	8.7
営業外費用	3.2	3.4	▲0.2
資本支出	358.5	118.5	240.0
資金収支差	4.2	3.5	0.7

※ 営業収益の運営費負担金は高度医療等に要する経費に対する負担金であり、移行前地方債等の利息償還に対する負担金は営業外収益に、元金償還に対する負担金は資本収入に含む。

※ 端数はそれぞれ四捨五入を行っているため、「増減」や各科目の合計が一致しない場合がある。

2 貸借対照表及び損益計算書

地方独立行政法人大阪府立病院機構の平成28年度末の貸借対照表及び平成28年度の損益計算書は、[資料3](#)及び[資料4](#)のとおりです。

当期の経常的な収益力については、経常損失を1.5億円計上しました。この経常損失から、臨時利益と臨時損失を加減した結果、当期総損失は8.8億円を計上しました。